

令和元年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 岡山市下水道河川局 広報戦略推進班	担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 谷口 美里、蜂谷 遥香
代表者氏名 岡山市長 大森 雅夫	下水道河川局 TEL:086-803-1510 FAX:086-803-1747 Mail:miri_taniguchi@city.okayama.lg.jp

部門名 行政 部門	事例名 「マンホールから飛び出した桃太郎」LINEスタンプの販売
--------------	-------------------------------------

事例の概要

岡山市下水道河川局では、市民の方に下水道について興味をもっていただくため、平成27年度から20代の若手を中心とした広報戦略推進班を結成し、様々な広報活動に取り組んでいる。このたび、下水道を身近に感じてもらうため、岡山市民には身近な「桃太郎マンホール」を題材にしたLINEスタンプを作成した。自治体のマンホールの柄を使用したスタンプは初めてである。

スタンプの絵柄は「頑張れ」「GOOD!」などの日常的に使えるものから、「穴があったら入りたい」などのユーモアがあるものまで40種類作成した。デザインの作成から申請、販促まですべて広報戦略推進班が行っている。

LINEスタンプは平成31年3月13日から最低価格のLINEコイン50枚(120円相当)で販売を開始し、4月30日時点では累計ダウンロード数が516件となっている。デイリーランキングでは約130万件中266位を記録した。毎日100人以上の方がスタンプを会話に使用されていることから、下水道の広報媒体となり、下水道に関心がない層が関心を持つきっかけとなりえる。

山陽新聞(地元紙)や下水道新聞、水道産業新聞にも取り上げられたほか、ローカル番組「なんしょん？」でも紹介を行った。メディアに取り上げられた後には問い合わせなどがあり、市民の方に下水道について興味を持っていただけただけことが分かった。



既存のマンホールから桃太郎ご一行を取り出す際、描かれていない部分を継ぎ足したことや、表情を変えることなどは苦労した。



←ローカル番組「なんしょん？」



←山陽新聞(地元紙)

エントリー事例の特徴

- **身近にあるマンホール**を題材にしていることや、多くの方が利用しているLINEアプリを利用することで、**子供から大人まで幅広い世代に下水道について気軽に知ってもらうことが可能。**
- デザインや申請などをすべて職員が行ったことや、ペイントソフトやプレゼンテーションソフトなどを駆使して作成したことから**少ない予算(実質0円)で効果が得られ、収益にもつながる。**
- 桃太郎LINEスタンプを会話の中で使うことで、送信者が下水道の広報媒体となるため、下水道に興味がない層にも発信できるなど、広報の波及効果が得られる。

付属資料の提出

あり・なし (どちらかに○)